

○ 校地

本学の校地は、主として、大阪府東大阪市西堤学園町3丁目1番地1号に位置し、近鉄奈良線「河内小阪駅」、大阪メトロ中央線「高井田駅」・「長田駅」、JRおおさか東線の「高井田中央駅」等から歩いてほぼ15分のところにあり、京都・奈良、神戸等からも交通至便の地である。

表 2-9-1 土地用途別面積 (㎡)

地 番	地番面積			
西堤学園町3丁目1番1号	49,980.00			
西堤学園町3丁目392番2号	6.61			
御厨西ノ町2丁目63番1号	3,673.00			
御厨西ノ町2丁目50番5号	33.05			
御厨西ノ町2丁目9番1号	126.00	大 学	短 大	大学短大計
校 地 総 面 積	53,818.66	9,519.68	12,164.03	21,683.71
校舎敷地	9,875.42	1,912.37	2,443.59	4,355.96
運動場	17,642.97	1,532.94	1,958.75	3,491.69
学生寮	730.57	320.74	409.83	730.57
その他	25,541.90	5,753.63	7,351.86	13,105.49

表 2-9-2 校地・運動場・校舎の面積 (㎡)

	設置基準面積		面積	
	大学	短大	大学	短大
校 地	3,600.00	4,600.00	9,519.68	12,164.03
運動場 ※	—	—	(1,532.94)	(1,958.75)
校 舎	3,172.80	4,950.00	8,749.14	6,806.93

※印( )はうち数

○ 校舎

本学、大学と短期大学部の校舎は、全部で6棟(1, 2, 3, 4, 8, 9号館)ある。

1号館はキャリアサポートセンター・学生ラウンジ・更衣室・ロッカー室等を設置し、学生は自由に利用している。2階には中教室(120名収容)と大教室(160名収容)があり、多人数を対象とした授業に対応している。3階には体育館フロアがある。

2号館には音楽教室とピアノ練習室(60室)及び音楽担当教員の研究室となっている。ピアノ練習室については、学生は自由に利用することができる。

3号館1階には、学生食堂があり、2階には体育館フロアがある。

4号館は図書館棟で、1階は図書閲覧室と書庫、2階は図書閲覧室となっており、3階に留学生たちのサロンとしても利用できる国際交流センターがある。また、短期大学部教員の研究室がある。

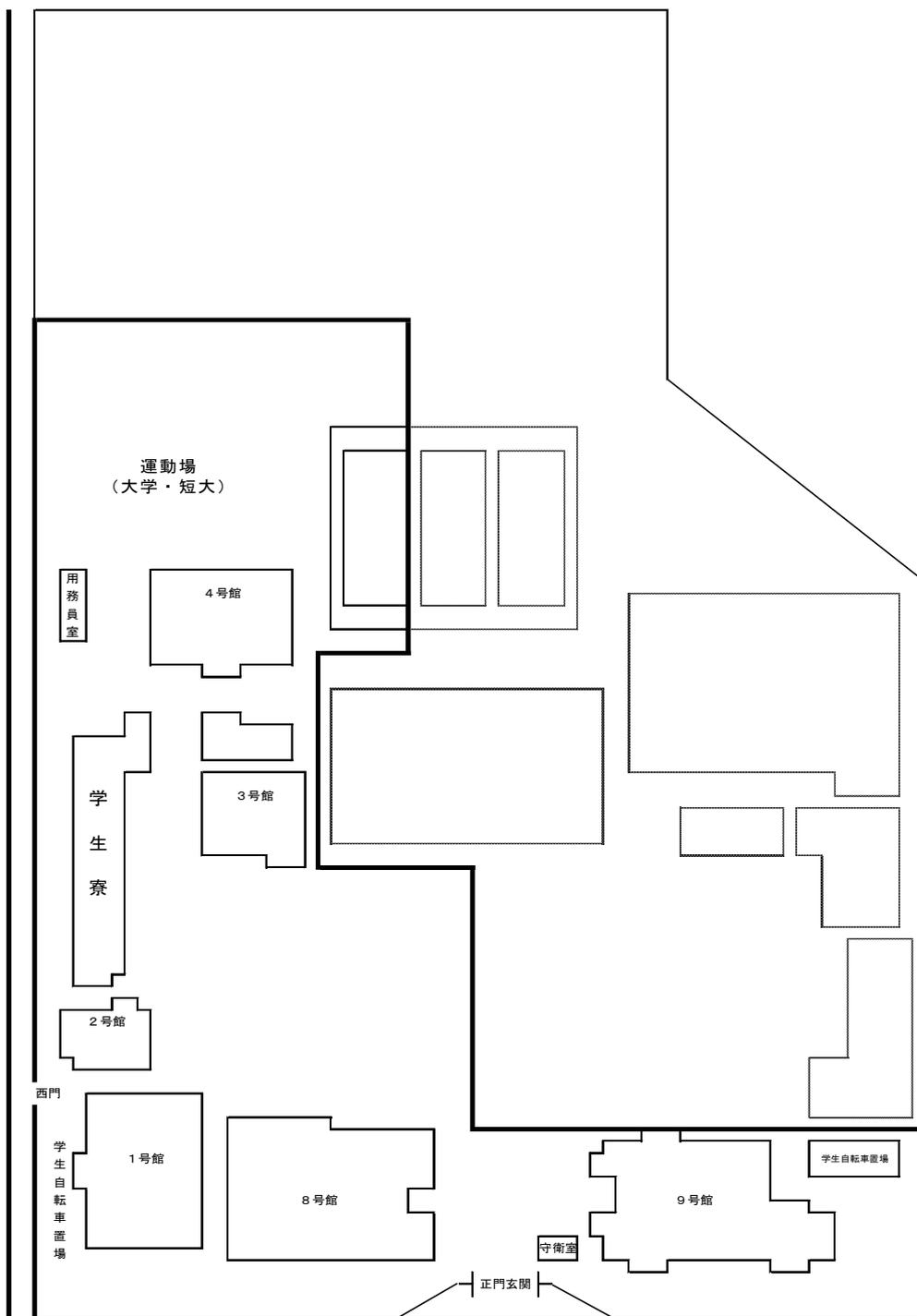
8号館には、3, 4階に大講義室(424.25㎡)があり、5階に法人事務局がある。大学の事務局本部は8号館の2階に集約され、教学支援部・学生支援部・入試広報部・総務部等、学生は1ヶ所に対応出来るようになっている。

9号館には、1階に学生ラウンジ、保健室、2階にこども研究センターと各教室、3階に学生自習室、4階に音楽室や美術室が並ぶ芸術関係の実習教室、6階にゼミ室等、7階に短期大学部の調理関係の実習室がある。なお、7階には学生相談室がある。教員の研究室は、主に8号館8階と9号館5階にある。

身障者への対応については、すべての校舎において車いすで入館できるようになっており、4, 7, 8, 9号館にはエレベータが設置されている。

校舎各階には、避難経路が掲示されている。

### キャンパス全体図



## ○ 体育・福利厚生施設

本学の体育施設は大学・短期大学部共用で、1号館3階131教室(583.40㎡)及び3号館2階321教室(403.07㎡)がある。放課後等は学内クラブ活動での使用、外部団体の体操クラブへの貸与等を行っている。

また、屋外にはステージ、芝生スペースも確保している。8号館6階にある屋上庭園は、本学のユニークな空間として学生に開放されており、大阪市内が一望でき、学生にとっての憩いの場所として利用されている。

その他、1号館、8号館、9号館の各1階には学生ラウンジの名称で自習等ができるオープンスペースがあり、それぞれ飲料自動販売機を設置し、学生は自由に使用できるようになっている。また、無線LANも使用できるよう整備している。

## ○ 音楽棟の概要

2号館は、音楽棟として、大学生と短期大学部生がピアノの練習を目的として利用できる施設である。練習室は60室(アップライトピアノ)あり、全室防音・冷暖房完備となっている。平日の12時から17時まで無料で利用でき、音楽担当教員の研究室がある。

## ○ 学生食堂

本学の学生食堂は3号館の1階(256.80㎡)にある。図書館、学生寮に隣接し、利用しやすい立地条件となっている。昼食時等には、学生や教職員の利用で賑わっている。

また、昼食だけでなく寮生の朝食、夕食も提供している。業務は外部業者に委託し、栄養面、価格の面で学生の要望に応えられるよう努力している。

## ○ 学内コンビニエンスストア

平成28(2016)年9月より、学内に学生待望のコンビニエンスストアが開店した。学生のアンケートに多くの要望としてあげられていたもので、7号館の解体を機に併設校である東大阪大学敬愛高等学校と連携して開設した。

設置場所は、高等学校の施設である記念館の1階をコンビニとしての商品を揃え、カフェコーナーを設置する等、学生が憩いの場としても利用できるようにした。

## ○ 図書館

### (1) 概要

本学図書館はキャンパスの4号館に位置し、教員の教育と研究活動及び学生の勉学を支援し、設置学部・学科に即して各種資料の収集と整理を行っている。図書種別では、学部学科設置上の性格から、教育、特に保育・初等教育関連のものを所蔵し、栄養、福祉関連の書物がそれに続いていたが、2011年4月にアジアこども学科の開設を迎え、現在に至るまで人文社会関連文献・アジア歴史資料の収集にも力を入れている。

本学の特色である「こども学」の発展に貢献するため、本学図書館初のコレクション(作家別・作品別各国語絵本の収集)の構築に2008年から着手し、図書館としての特色の一つを創り出すと同時に、学生に異文化に直接触れる機会を提供し、グローバル視点から「こども学」に対する理解を深め、勉学・研究の意欲を高めることを狙ってきた。今後特筆すべき貴重な研究資源となることを目指している。現在既に日本語をはじめ35か国・地域、25言語数の416冊を集め、図書館棟1階のロビーに液晶ディスプレイと展示ケース二台を設置し、比較の角度から作品と作者の

紹介を行っている。

## (2) 施設

### ① 総延面積 857 m<sup>2</sup>

閲覧室 521 m<sup>2</sup>、 書庫 234 m<sup>2</sup>

### ② 閲覧座席数 116 席

### ③ AV 視聴ブース (1 人用) 4 席

→ 1 人用のブースでヘッドホンを増設して 2 人で視聴すること可能

機器 DVD プレーヤー：4 台、VHS ビデオ：2 台

### ④ 蔵書収容力約 5 万冊 (平成 31 年 3 月 31 日現在収蔵図書総冊数 81,522 冊)

### ⑤ 資料検索用端末 3 台 インターネット用端末 6 台 (1 階 4 台、2 階 2 台)

### ⑥ 複写機 (利用者用)：1 台 (白黒、カラー) (事務用)：1 台

### ⑦ マイクロフィルム資料閲覧用マイクロフィルムリーダー 1 台

## (3) 年間図書館予算 (平成 31 年度経常費予算)

総予算 7,109,967 円 (内、図書館 2,229,678 円、含製本費)

図書の年間購入費は、図書館図書購入費と学部・学科図書購入費からなる。図書館の図書購入費は主に辞書・事典類、教養関係及び特色蔵書の購入に、学部・学科の図書費は主として専門書の購入に充てている。学生からの購入希望図書は、図書館で適切と判断したものについては、学習・研究支援という観点から、高価なものであっても極力購入している。

## (4) 購入図書等選定システム

教職員と学生の購入リクエスト、年 2 回の学生選書ツアー、図書館員が授業内容及び教員指定参考書による選書等を以て購入図書を選定する。また、特色ある大学図書館の創出を目指し、独自の蔵書方針も定め、辞書・事典類及び「こども学」に関する資料収集とコレクション構築に特に力を入れている。

## (5) 図書等廃棄システム

保存期間 2 年間と定められている購入雑誌に関しては、諸手続きを行った後、教職員・学生へのリユースに供している。主に学生に提供。

## (6) 司書数等

司書資格を有する職員 1 名、館長は専任教員がそれを兼務する。

## (7) 情報化の進捗状況

平成 19 年度に、ローカルシステムとして「CARIN」を導入し、国立情報学研究所 (NII) が構築する学術情報システムに参加すると同時に、同システムでの資料の発注・受入・登録・閲覧・相互利用などの各業務を開始した。翌年に Web 上での OPAC 利用を開始し、OPAC、商用データベースの利用、新着資料案内など各種図書館サービスのプラットフォームとしてホームページを位置づけ、情報の更新と機能の向上に努めている。現在「マイ・ライブラリー」機能も追加し、Web 上での貸出資料情報の確認、資料の予約・相互利用の申込などが可能になった。

2015 年 4 月より更なる情報化を進めるため、クラウド上で動作する図書館システム「BABEL」を導入し、利用に供している。

新聞社の情報データベースとして、2011 年 4 月大学の新学科開設を機に朝日新聞社データベース「聞蔵」をバージョンアップし、「聞蔵Ⅱ」が利用できるようになった。

また、1 階閲覧室では学生が利用できるパソコンのコーナーを設けている。このコーナーではインターネットの他、マイクロソフト・オフィスのシリーズも使用が可能である。プリンターも設置しており、学生に無料で供している。

図書館蔵書数一覧（平成 31 年 3 月 31 日現在）

区分	和書	洋書	雑誌	AV 資料
冊（種）	75,134 冊	6,388 冊	610 誌	3,646 点

（8）資料の整備状況

主として、図書館棟の 4 号館 2 階に参考図書、一般図書と新聞・雑誌を配置し、新着図書コーナー（2 階）、学生選書コーナー（1 階）を設けている。比較的利用頻度の少ない図書、複本、紀要、製本雑誌を 3 階資料室及び 1 階書庫（いずれも閉架式）に保存し、希望に応じて出納して利用に供している。また、コレクション資料は 1 階ロビーにて展示ケースを以て紹介している。

開架資料数（平成 31 年 3 月 31 日現在）

区分	参考図書	一般図書	合計	AV 資料	雑誌
冊数	2,603 冊	37,385 冊	39,988 冊	2,286 点	111 種類

（9）開館状況、利用者数および利用状況

朝 9 時から 17 時 30 分までを開館時間とする。平成 30 年度の全体の入館者数は 3,543 名である。

① 開館日数及び開館時間

開館日数（平成 30 年度）：238 日

開館時間：平日 9 時～17 時 30 分 学休期 9 時～17 時

② 平成 30 年度学生の利用者数および利用状況

大学と短大あわせて 3,188 名（図書館独自の統計ファイルより）

貸出・利用状況：図書・雑誌（貸出）579 冊

AV 資料 に関しては、学生に対する貸出は行っていないが、1 階閲覧室のブースにて視聴可能である。

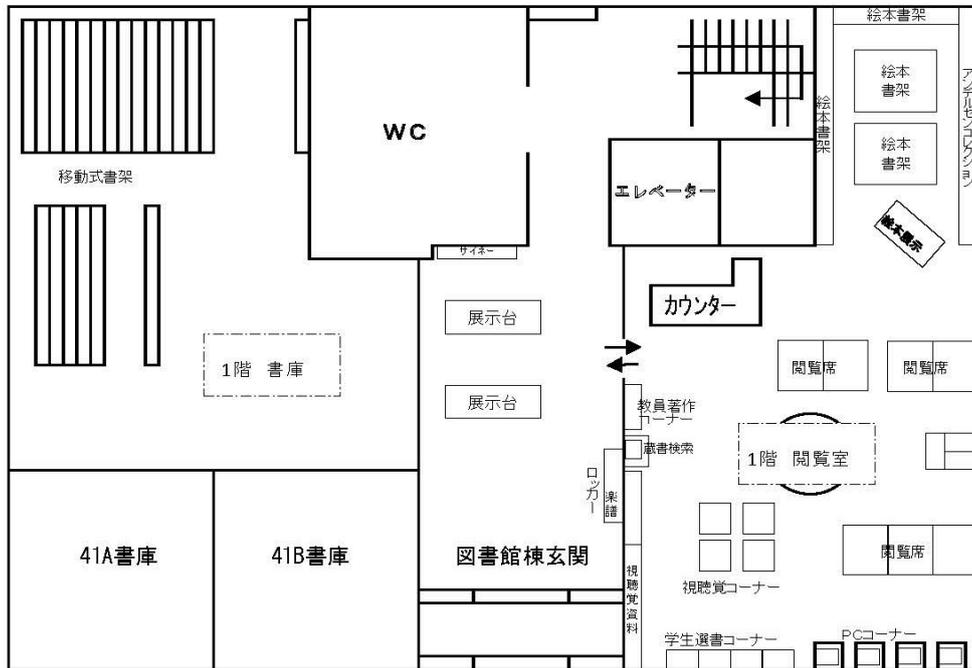
利用促進のため、新入生対象の図書館オリエンテーションを毎年実施している。

蔵書数が多くないことを考慮して、通常の貸出冊数と期間は 5 冊と 2 週間としているが、夏休み等の長期休暇時、実習期間中及び卒論執筆時については、特別貸出制度を設け、利用者の便利を図っている。本学図書館にない図書資料等については、図書館間相互利用制度により他大学の図書館などから取り寄せしている。

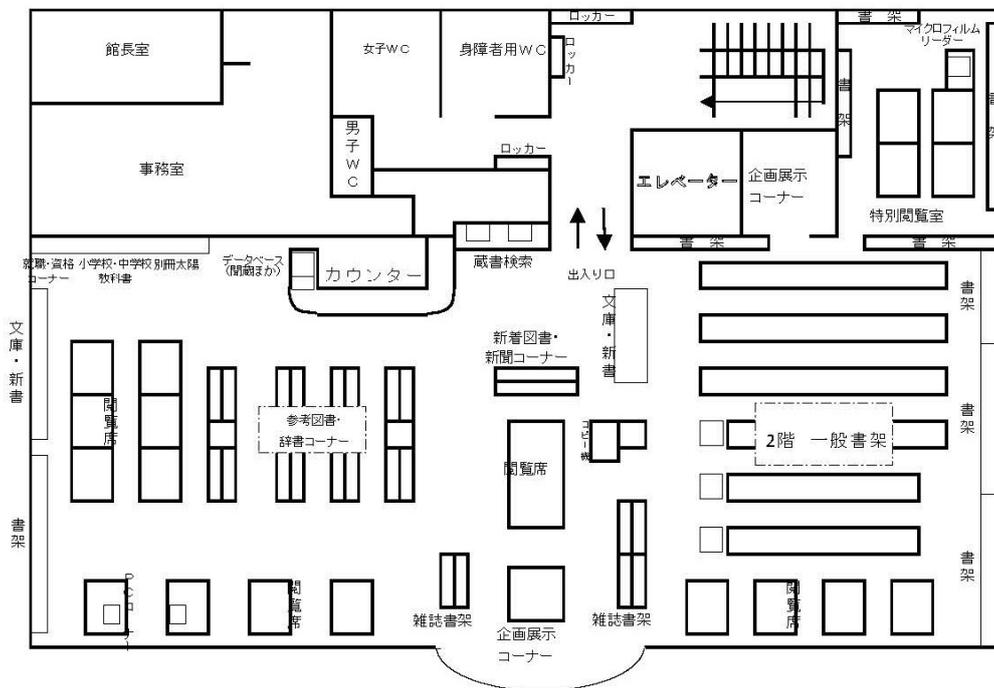
（10）図書館年間定例イベントと広報

図書館通信「蛍窓」（年 2 回、4 月と 10 月発行、教職員及び学生に配布）と共に、独自のホームページをもって開館スケジュール、図書館主催の行事、提供できるサービス及び図書館に関する各種データを発信している。そのほか、図書館では学生向けの読書イベントとして、学生選書（年 2 回）、読書感想文コンクール（年 1 回）を行っている。

図書館案内図 1階



図書館案内図 2階



東大阪大学は同短期大学部及び東大阪大学敬愛高等学校、東大阪大学附属幼稚園での共通のキャンパスネットワークを構築しており、学生支援部で管理運営を行っている。セキュリティの関係上、高等学校とはドメインを分けて運用し、かつ学生、教員、職員はセキュリティポリシーに基づいたアクセス権を所持している。

#### ① ネットワーク

キャンパスネットワーク内のユーザすべてに個人が利用できるホームディレクトリが用意され、ネットワーク内からアクセスが可能である。また、すべてのユーザに対してメールアカウントが発行され、学内外からの送受信が可能であり、ユーザに対して発行されたメールアカウントについては、学生は卒業後も、引き続き利用できるサービスとして運用している。

学生の学内持ち込みパソコンは、9号館、8号館、図書館及び学生寮では無線LANを利用することができる。

#### ② サーバセキュリティ

キャンパスネットワークには5台の公開サーバと2台のドメインコントローラ及びファイルサーバを設置しており、インターネット向けとイントラネット向けの2重のファイアウォールを設置すると同時に、キャンパスネットワークではウィルスチェッカーによりウィルスの侵入をリアルタイムで検知している。

また、情報漏洩防止のため端末の動作の24時間ログ収集を行っている。

#### ③ 情報教室と設置台数

833 情報処理演習室 (45 台) OS:Windows 8

861 情報処理演習室 (37 台) OS:Windows 7

#### ④ 自習室

図書館1階に4台パソコンがあり、卒業論文、レポート課題等作成のために活用している。なお、情報教育センターでは、平成28(2016)年度から貸出し用ノートパソコン10台を購入し、学生に貸し出ししている。

### ○ 地域連携推進センター

本学が設置されている東大阪市周辺地域の市民、企業、自治体などとの連携協力を維持・発展させ本学の特性を活かした社会貢献を行い、地域の要請に応えるとともに、地域連携の総合的發展に向けた取り組みを行うことを目的としている。本センターでは、「東大阪大学こども研究センター規程」「東大阪大学・東大阪大学短期大学部異文化交流室規程」「東大阪大学・東大阪大学短期大学部産官学地域連携室」規程の業務を統括する。

#### (1) こども研究センター

9号館2階にこども研究センターがある。乳児用、幼児用保育室、観察室、子育て支援室(こども文庫)、事務室がある。保育用の備品や図書を用意し、学生や教員の教育・研究活動に活用されている。

なお、詳細については、基準Aに記載している。

#### (2) 異文化交流室

##### ① 海外研修の支援

アジアこども学科では、平成 30(2018)年 11 月に教員 2 名の引率の下、「アジアこども学研修」を実施し、フィリピンセブ島を訪れ、現地孤児院でのボランティア及び英語レッスンの受講を行った。その際の研修説明会や保険業務等の研修支援を行った。

#### ② 留学生のためのチューター制度の実施

本学では、例年留学生のために日本人学生をチューターとして募集し、留学生の支援を行っている。平成 30 年度は選ばれたチューターが新入学留学生のために交流企画を月ごとに実施し、留学生の学生生活支援、日本人学生と留学生との親睦を図った。

#### ③ 異文化交流の日の実施

平成 30(2018)年 10 月 20 日に「異文化交流の日」として、国際交流料理大会と東大阪大学弁論大会を実施した。午前中に「第 3 回国際交流料理大会」を短期大学部実践食物学科の協力のもと開催した。料理のテーマを「世界の粉もん選手権」とし、本学の学生のほか、東大阪市内在住の中国、台湾、ベトナム出身の外国人の 5 チームが参加し、本学の調理室において調理過程と味を審査した。午後は、「第 3 回外国人日本語弁論大会」、「第 3 回外国語弁論大会」を実施した。本学生のほか、東大阪市内在住の一般参加者も含め 16 名が出場し、国際交流の場を提供することができた。

### (3) 産官学地域連携室

#### ① 東大阪市内大学連絡協議会

東大阪市内大学連絡協議会は、東大阪市長並びに大阪経済法科大学、大阪産業大学、大阪樟蔭女子大学、大阪商業大学、近畿大学及び東大阪大学をメンバーとし、東大阪市内と大学間の連携を深め発展を図ることを目的とする。本年度は、東大阪市内で開催される「ゆるキャラグランプリ」に短期大学部実践食物学科にて、2019 年花園出場 7 ヶ国風カレーパのレシピを作成し、東大阪カレーパン会のブース出店に協力した。

#### ② 東大阪カレーパン会

本学短期大学部実践食物学科では、2019 年ラグビーワールドカップに向けて、ラグビーボールの形状のカレーパンを東大阪市内の名産とするべく東大阪市内のパン店とカレーパン会を結成し趣向を凝らしたカレーパンを作成している。現在、東大阪花園ラグビー場に出場する参加国や東大阪の食材を使用したカレーパンの開発に力を入れている。

#### ③ ひがしおおさか体感まち博

東大阪市内および一般社団法人東大阪ツーリズム振興機構主催の東大阪市の観光プログラム 2018 プレ「ひがしおおさか体感まち博」において、2019 年から始まるゴールデンズポーツイヤーを機に、東大阪市内を訪れる外国人をはじめ多くの観光客に東大阪市の魅力を体感してもらおうと「体験型」の観光を多くの観光客に提供するプログラムに短期大学部実践食物学科が「時短レシピのカレーパン作成」と「昆虫食の講座と試食」のプログラムを実施した。

### ○ 国際交流センター

現在、9 か国 175 名の外国人留学生が在籍している。

グローバル社会に開かれた大学として、日本の風土・文化・社会理解の指導ならび留学生の学修支援・生活支援そして適正な在留管理を業務としている。

4 号館 3 階の国際交流センターは、パソコンが設置されており、日本語テキスト・中国語や英語などの小説やマンガ本、又、比較文化論や異文化研究の書籍を配架している。冷蔵庫・電子レンジ・ポットも完備し、留学生が昼食に集う場ともなっている。

① 学生生活支援体制

在留期間更新の代理申請や出入国関連の相談対応、学習奨励費(奨学金)募集等も主業務としている。現在、中国・ベトナム人職員2名を配置し個別相談にも対応、受入教育機関として安心して充実した留学生活づくりに取り組んでいる。

『留学生ハンドブック』や在留期間更新受付日程など、留学生への発信情報は、スマートフォンからみることができる。又、ライン等の登録により国際交流センターと「つながっている」連絡網を構築している。

② 日本での就職へキャリア支援を強化

国際交流センター内にキャリアサポートの専従職員を配置し、新入学生から「就職ガイダンス」を実施している。インターンシップの紹介や、本年度から新設された在留資格「特定技能」や「特定活動(本邦大学卒業生)」など、卒業後の日本での活動について、個々の進路実現を支援している。

③ 留学生への危機管理

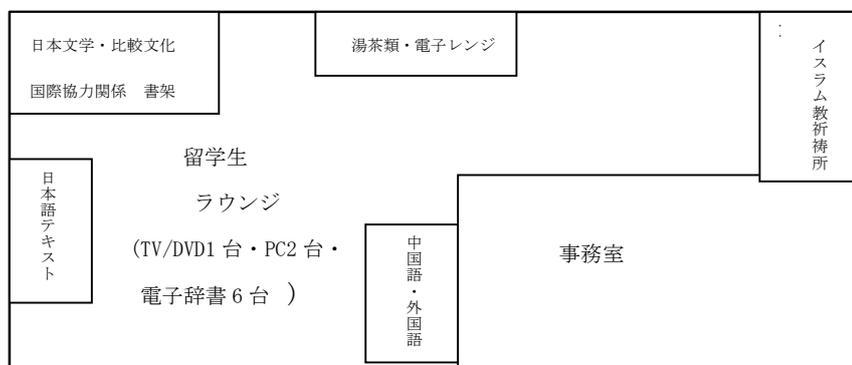
留学生の健康で安全な留學生活の確認のため、月次の在籍確認と面談を実施している。又、テロ・災害への安否確認として、出国時には海外渡航届出を義務付け、渡航先ならば緊急連絡先、帰国確認を行い学生支援部・担任との情報共有をおこなっている。

④ 南京曉莊学院との交流連携

平成27(2015)年、本学関係者が中国の南京曉莊学院を訪問、教職員・学生交流及び国際こども学シンポジウムの開催を含む両大学の交流協定を作成し調印した。

平成30(2018)年10月には、南京曉莊学院教師教育学院から訪問を受け、本学教員との「こども学シンポジウム」が開催され活発な学術交流となり、今後も一層の交流が期待されている。

【国際交流センター配置・設備図】



○ 学生寮

遠隔地から入学する学生のために学生寮「桃風寮（とうふうりょう）」（女子寮）を設置している。学生寮は、本学キャンパス内に設置されており、遠距離からの学生に、低廉で便利な居住空間を提供している。建物は、4階建てで53室を有しており、各部屋は基本2人部屋とし、3名の寮監と東大阪大学敬愛高等学校の教員が交代で管理運営をしている。令和元年(2019)年5月1日現在、大学生7名、短期大学部生2名が入寮している。寮内では無線LANが利用できる環境となっている。

現在、2階、3階、4階は、本学園併設校である東大阪大学敬愛高等学校の留学生、クラブ生徒も使用している。

学生寮『桃風寮』概要

■ 昭和53年築／鉄筋コンクリート造4階建て

■ 部屋タイプ：2人部屋

お風呂・トイレ・キッチン共同

入寮費	120,000円	入寮時
寮費	400,000円（年額）	前後期分納
※共益費・冷暖房費、朝夕の食費を含んでいます。		